

---

▼ 目次 ▼

1. 理事長ご挨拶
  2. 活動報告
  3. イベントレポート
  4. 事務局よりお知らせ
- 

■理事長ご挨拶 岡部宏生

このたびは、サポーター会員にご登録いただき、心よりお礼申し上げます。先日のイベントでは、たいへん多くの反響をいただきました。この活動はスタートしたばかりですが、それだけ必要とされていることなのだと思えます。皆様の期待に応えられるよう、理事・スタッフ一同、気を引き締めて、とにかく一つずつ積み上げていくしかないと思っています。これから、知ってもらおう活動、医療と福祉・当事者などのネットワーク構築、そして介護体制作りを進めて参ります。

このメルマガは、広く皆様にお伝えしたいことと、現在介護や医療に携わっている方向けに少し専門的なことや、マニアックなお伝えしていくという二部構成でやっていきたいと思っています。いわば、たくさんの細い紐としてご支援をくださる方向けと、太い綱の方向けにしていければと思っています。今後ともどうぞお力添えのほどよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 境を越えて 理事長 岡部宏生

※ご参考 【細い紐と太い綱について】(岡部から理事宛のメールを編集)

この活動はどれくらい社会に訴求できるかは、まだ未知のものです。ですが、志は思いきり高く、活動は地道な努力を重ねて参りたいと思っています。この活動を進めていくにあたって、私は以下のように考えています。

私たちのような重度の障害者の介護には、特殊なスキルとスタンスを持った人がどうしても必要になります。それを表現すると強くて「太い綱」になります。でも、そういう介護者がもし何かの事情で介護ができなくなったりすれば、その介護を受けていた当事者の生

活はたちまち破綻します。私たちの社会全体で見たとき、こういう支援の仕方ではまずいと思います。「太い紐」に加えて、たくさんの「細い紐」も必要になります。紐は、10本や20本切れても全体ではなんともない、というものでなければならないのです。そういう支え合いの社会になってほしいと思います。誰かが死んだ時に誰にも知られないのではなくて、あいつ死んだのかと多くの人に知ってほしいと思います。(人知れずになくなるのも良いと思う方もいらっしゃると思いますが。) ひいてはあいつ今こんなことで困っているのか、自分にも何かできないかと考えるような社会になってほしいと願っています。こういう社会支援の「細い紐」になってくださいませんか?と呼びかけたいです。私はこの活動で「太い綱」と「細い紐」が生まれてほしいと願っています。それが個人を支援すること、社会に風を吹かせることに繋がると思えます。「太い綱」を少しでも増やして、「細い紐」をたくさん増やせればと強く願っています。個人の思いとしてはたった一人でも暮らしの質が上がってくれば本懐といえるのですが、こんなに情熱を持った仲間と温かいご支援をくださる皆さまがいるわけですので、広く深くこの活動が社会の中で育っていかなければと思っています。そういう活動を皆さまのお知り合いに紹介していただきたいとお願いする次第です。私たちは社会の中で、重度の障害者のための介護者(「太い紐」)の育成とともに、介護に対する理解をたくさんの方に知ってもらい、「細い紐」もたくさん増えてくれればこんなに嬉しいことはありません。どうかよろしくお願いいたします。

■活動報告

初回ですので2019年5月までのおおまかなご報告と、6月のご報告をいたします。次号からは前月のご報告にまいります。

【2017年夏】法人設立の意思確認。準備開始

【2018年9月】理事メンバー確定。法人申請準備開始

【2019年1月】設立総会、東京都へ法人申請

【同年4月】法人認可

【同年5月】イベントのクラウドファンディング開始

【同年6月】

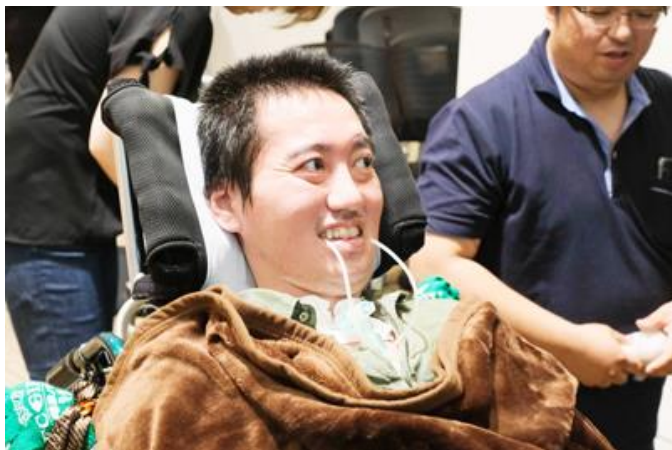
- ・1日(土)日本 ALS 協会近畿ブロック支部総会にて PR
- ・2日(日)岐阜の協力者への協力要請。名古屋にてイベント打合せ
- ・7日(金)東京大学「障害者のリアルゼミ」にて PR
- ・8日(土)秋田の協力者への協力要請
- ・15日(土)境を越えてスタート記念イベント
- ・25日(火)神奈川県 of 協力者への協力要請
- ・28日(金)東京純心大学にて PR

### ■イベントレポート

6/15に開催いたしましたイベント「境を越えて～スタート記念トークライブ&映画『風は生きよという』上映会&武本花奈写真展 THIS IS ALS～」にご来場いただきました皆様、クラウドファンディング等でご支援くださった皆様、また、6/30(日)まで東京ミッドタウンにて展示されていまして「武本花奈写真展 THIS IS ALS」に足を運んでくださった皆様、心よりお礼を申し上げます。写真をメインに下記クラウドファンディングのサイトにアップいたしましたので、ご確認ください。

<https://camp-fire.jp/projects/145382/activities#menu>

当日参加者はもちろん、ライブ配信をご覧いただいた方も含めて、多くの方に介護者不足について改めて認識していただけたかと思えます。いろいろな感想を寄せて頂いておりますが、誌面の都合上、おひとりだけですが、ご紹介させていただきます。元岐阜 FC 社長の ALS 当事者恩田聖敬さんの投稿です。



### ディープリンパクト

先の土曜に東京六本木ミッドタウンにて行われた境を越えてプロジェクトの始動御披露目会ならびに、ALS 患者

の写真展に行ってきました。今までの人生で参加したイベントの中で最も衝撃を受け、考えさせられる内容でした。全国民が知るべき内容でした。今の私に何が出来るのか、あれからずっと頭の中を巡っています。

介護者不足は、高齢化や医療の進歩にあわせて、これからさらに大きな問題として直面する問題です。一人一人が自分に引き寄せて考えてもらえれば、社会を変えることは難しくても、社会に変化の風を吹かせることはできると私たちは信じています。これからも、よろしく願いいたします。また、是非、ご家族やご友人に境を越えての活動についてお話していただくととても嬉しいです。



### ■事務局よりお知らせ

6/15のイベントをはじめ、多くの場所でアピールする機会をいただき、少しずつサポーター会員が増えて参りました。本当にありがとうございます。書類やお礼状等の用意が遅れておまして申し訳ありません。少人数のスタッフで運営しておりますのでご容赦ください。時間はかかっておりますが一つ一つ心を込めて作業いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

~~~~~  
 発行者：特定非営利活動法人 境を越えて

編集委員：鈴木翔三、山崎彩恵、本間里美

Address：〒135-0016 東京都江東区東陽 3-28-9-1001

TEL：03-6666-7506

E-Mail：info@sakaiwokoete.jp  
 ~~~~~